

2011年12月22日

成田空港10大ニュース 2011

弊社では、2011年の成田空港10大ニュースを取りまとめましたので発表いたします。

●発着容量 30 万回対応に向けた空港機能の拡充や利便性の向上が進む（通年）

- －「ビジネスジェットの推進に関する委員会」でビジネスジェット専用施設の整備を提言（2月10日）
- －への字誘導路の改良（3月10日）
- －同時平行離着陸方式の運用がスタート（10月20日）
- －ビジネスジェット対応スポットを3スポット増設し、18スポットに（10月20日）

●2013年夏ダイヤから、成田空港と周辺諸国との間でオープンスカイが実現（通年）

- －日本政府が周辺諸国と航空協議を開催し、2013年夏ダイヤから成田空港との二国間輸送の自由化について合意

【2011年中に合意に至ったオープンスカイ（12月19日現在）】

シンガポール、マレーシア、香港、ベトナム、マカオ、インドネシア、カナダ、オーストラリア、ブルネイ、台湾

【2010年に合意に至ったオープンスカイ（参考）】

米国、韓国

●成田空港に LCC 就航の動きが加速（通年）

- －エアプサン（6月23日）、イースター航空（7月1日）がそれぞれ初就航
- －ジェットスター航空、日本航空、三菱商事の3社がジェットスター・ジャパン設立に合意。成田空港就航の検討を表明。（8月16日）
- －全日空とエアアジアによりエアアジア・ジャパンが設立。成田空港を拠点とし12年8月の就航を表明（8月31日）

●東日本大震災および福島原発事故により大きな影響（3月11日～）

- －東日本大震災当日キャンセル176便・遅延87便、夜間滞留者8500名発生（3月11日）
- －電力供給逼迫を受けた節電対応の実施（3月14日～9月9日）
- －空港内の貨物上屋を災害救援物資の一時保管スペースとして無償提供（3月17日～7月21日）
- －航空機燃料の備蓄情報を情報提供（3月21日～4月28日）
- －空港内の放射能測定結果をHP上で公表（3月29日）
- －ターミナル内で東日本大震災チャリティフェアを実施、東北4県の名産品50品目を販売（4月29日～5月8日）
- －“頑張ろう！Nippon From NARITA AIRPORT”プロジェクトを成田空港オアシスプロジェクトが実施（4月5日～）

- － “日本からのありがとうキャンペーン” を、(社) 日本旅行業協会、日本政府観光局ほか主要空港と共に実施 (6月6日～9月30日)
- － 成田空港ビジネスが仙台空港へ手荷物カート 100 台寄贈 (7月25日)
- － 2011 年度通期見通し一時は純利益で 32 億円の赤字と試算するが、11 月には 32 億の黒字へ上方修正 (11月10日)

● 成田空港問題の歴史を後世に伝える「成田空港 空と大地の歴史館」オープン (6月23日)

- － 地域と空港をめぐる歴史的経緯とそこに関わった様々な立場の人々の苦悩と想いを複眼的な視点からとらえ、できる限り正確に後世に伝えていくことを目指して、「成田空港 空と大地の歴史館」がオープン。

● 第2ターミナル4階ショッピング&ダイニング街が大幅リニューアル (7月1日～)

- － 1992 年の第 2 ターミナルオープン以来初となる大幅リニューアルを実施。
「わかりやすく、見やすく、楽しく」をコンセプトに、空港初出店の店舗をはじめ、新店 12 店舗を含む 34 店舗の専門店や飲食店がオープン。ファッション・雑貨などが拡充し幅広いジャンルのショップが合計 53 店舗出揃った。このリニューアルにより、第 1、第 2 ターミナルの飲食店、物販店、免税店は合計 255 店舗に。

● 「成田国際空港 B2B」サイトを開設、空港での事業展開をサポート (9月29日)

● 成田空港から B787 が世界で初めて営業フライト。成田から ANA による成田＝香港のチャーター便が出発 (10月26日)

● 発着枠が 23.5 万回へ拡大 (10月30日)

● 成田空港の国内線が充実 (10月30日～)

- － スカイマーク、成田空港国内線に“成田シャトル”として初就航、成田空港初の旭川線と札幌線を運航開始 (10月30日)、続いて那覇線を運航開始 (12月8日)